

## 海外ビジネス情報



ホーチミン

## ベトナムにおけるEVタクシー事情

北陸銀行 国際部  
ホーチミン駐在員事務所  
グエン・ゴク・ビン・アン

## 1. はじめに

昨年からベトナムの主要都市で、シアン色の新しいタクシーブランドを目にする機会が増えました。ベトナム発のEVタクシー、「Xanh SM (Green Smart Mobility)」です。

「Xanh SM」タクシーは、2023年4月にベトナムの首都ハノイでサービスを開始し、2024年1月25日現在、ベトナム国内63省のうち既に29省でサービスを展開しています。車両台数は、電気自動車20,000台、電動バイク60,000台でスタートしました。

右写真の通り、車両の基本カラーは「シアン」です。『環境、グリーンエネルギーを表す』緑色と、『知性と技術を象徴する』青色を組み合わせた色で、路上でひときわ目を引きます。

このEVを使ったタクシーサービスについて簡単にご紹介いたします。



【最近よく見かけるようになったXanh SMタクシー】

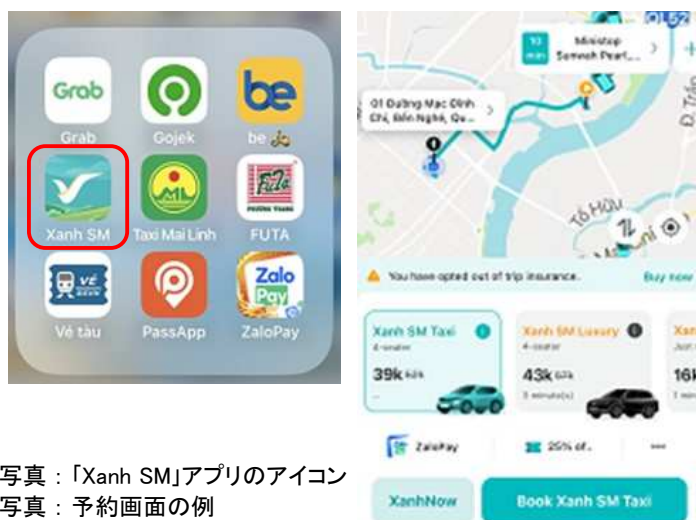
## 2. Green and Smart Mobility 株式会社の取り組み

2023年3月、ベトナムで著名な財閥グループのビンググループ(Vingroup)が、グリーン・スマート・モビリティ株式会社(Green and Smart Mobility、以下「GSM」)の設立を発表しました。東南アジアで初めてとなるEVのみを使ったタクシーサービスを提供するという取り組みは、環境に優しい次世代移動手段への期待の高まりからベトナム国内外で注目を集めています。

GSMは、同じビンググループ傘下の自動車メーカー、ビンファスト(VinFast)社製のEVをタクシーサービスに提供することで、EVの使用習慣を市民生活に根付かせ、様々な魅力や可能性を周知すると同時に、市民の環境に対する意識を啓蒙することを目標としています。こうした取り組みの効果もあり、ビンファスト社製のEVは汚染物質を排出せず、油のにおいもなく、エンジンの騒音もない、健康的で、環境に優しい車両として徐々に認識され始めています。

「Xanh SM」はアプリから簡単にタクシーを予約することができます。アプリでは、「Grab」、「Gojek」、「be」といった配車アプリと同様、乗車ルートや料金情報が事前に表示されるため、安心して利用することができます。

現在、GSMはタクシー事業のほか、電気自動車・電動バイクのレンタルサービスも行っています。



上写真：「Xanh SM」アプリのアイコン  
右写真：予約画面の例

### 3. おわりに

今回のレポートでは「Xanh SM」についてご紹介しました。

他社に比べるとまだ台数が少ないため、時間帯や場所によっては予約が難しいこともありますが、EVならではの快適な乗り心地で、今のところ評判は上々だということです。

「Xanh SM」の車体カラーはベトナムの街中で大変よく目立ちます。日本からベトナムに来て、EVタクシーが数多く走っている日常の風景を眺めていると不思議な感じがするかもしれません。皆さんも機会があれば是非利用してみてください。

<ご注意> 文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内)  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp